



平成21年2月6日

各 位

会 社 名 IMV株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岡本 二郎  
(JASDAQ・コード7760)  
問合せ先  
役職・氏名 管理部長 柏井 宏夫  
電話 06-6478-2565

平成21年9月期第2四半期累計期間（連結・個別）及び通期（連結・個別）  
業績予想の修正並びに経営合理化策（役員報酬の減額等）に関するお知らせ

当社は、平成21年2月6日開催の取締役会において、平成20年11月14日付当社「平成20年9月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を修正するとともに、役員報酬の減額等の経営合理化策を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成21年9月期 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間（平成20年10月1日～平成21年3月31日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	3,143	198	224	119	7円32銭
今回修正 (B)	2,498	83	92	38	2円36銭
増減額 (B-A)	△645	△115	△132	△81	—
増減率	△20.5%	△58.2%	△59.0%	△67.8%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年9月期中間期)	3,325	164	175	83	5円01銭

(2) 通期 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	5,762	253	258	139	8 円 51 銭
今回修正 (B)	4,641	67	52	14	91 銭
増減額 (B-A)	△1,120	△186	△206	△124	—
増減率	△19.4%	△73.4%	△79.8%	△89.4%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 9 月期)	5,717	248	292	147	8 円 95 銭

2. 平成 21 年 9 月期個別業績予想の修正等

(1) 第 2 四半期累計期間 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	3,140	161	199	106	6 円 53 銭
今回修正 (B)	2,494	50	71	26	1 円 64 銭
増減額 (B-A)	△646	△111	△128	△80	—
増減率	△20.6%	△68.8%	△64.4%	△75.0%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 9 月期中間期)	3,321	113	136	61	3 円 67 銭

(2) 通期 (平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	5,756	182	205	110	6 円 74 銭
今回修正 (B)	4,634	45	49	13	83 銭
増減額 (B-A)	△1,121	△136	△156	△96	—
増減率	△19.5%	△74.8%	△76.1%	△87.7%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 9 月期)	5,708	158	219	105	6 円 42 銭

### 3. 修正の理由

世界的な金融危機による景気後退が期初の予想を上回る水準で進行しており、特に当社グループの主要顧客である自動車及び電機産業における受注が急速に減少しております。今後の受注動向につきましても、これら主要顧客における設備投資の中止や延期等により引き続き厳しい状況が続く見込みです。こうした環境下において、当社グループとしては省エネ型振動シミュレーションシステムの発売や各種パートナー企業との協業を推進させると共に、固定費の削減及びコストダウンによる損益分岐点の改善等を緊急に進めておりますが、平成20年11月14日に発表した売上高及び利益計画の達成が困難であると判断し、業績予想を修正いたします。

なお、配当予想につきましては、安定配当を維持する方針であり、現時点において修正の予定はありません。

事業部門別 連結売上高予想 通期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）

（単位：百万円）

事業部門	平成21年9月期 第1四半期	当初通期 業績予想	修正通期 業績予想	増減率
振動シミュレーション システム	916	3,854	3,235	△16.1%
メジャリングシステム	184	1,121	792	△29.3%
テスト&ソリューション サービス	146	786	613	△22.0%
合計	1,247	5,762	4,641	△19.4%

#### 4. 経営合理化策

##### (1) 役員報酬の減額

- ・代表取締役：月額報酬及び賞与合計の30%
- ・取締役、監査役：同上の10%～20%

##### (2) 従業員人件費の減額

- ・執行役員：月額報酬及び賞与合計の20%
- ・管理職：同上の15%

##### (3) その他合理化策

一般従業員を含め、生産調整による時間外労働時間の短縮及び一部手当の支給中止を合理化策として推進いたします。

##### (4) 期待効果

上記合理化策による固定費削減の期待効果は、通期で130百万円を見込んでおります。

##### (5) 収益の改善に向けて

省エネ型振動シミュレーションシステムや鉄道車両機器向けテストラボといった成長が期待できる事業分野を強化すると共に、新製品開発や販路の拡大等で各種パートナーとの協業を推進してまいります。

##### (6) 期間

平成21年2月より平成21年9月まで

以 上